



PRESS RELEASE

国立大学法人琉球大学
おきなわ子どもまんなかウェルビーイングセンター
の設置について

2024年7月26日（金）学長記者懇談会

【問合せ先】琉球大学財務部

メール：zmbucho@acs.u-ryukyu.ac.jp

電話：098-895-8040

令和6年度に「沖縄健康医療拠点」内に
「国立大学法人琉球大学おきなわこどもまんなかウェルビーイングセンター」
を設置します。

背景

沖縄県は、国内でもっとも出生率が高いという可能性を有する一方、歴史的、地理的、社会的不利等の様々な特殊事情から県民所得や若年妊娠率などに課題を抱えており、こどもを取り巻く環境は厳しい状況にある。

他方、来年には、西普天間住宅地区跡地に整備される「沖縄健康医療拠点」に琉球大学医学部及び病院が移転する節目を迎える。こうした中で、本学として沖縄のこどもを取り巻く課題解決に向けた学際的な研究の場を立ち上げることにより、アカデミアの立場から地域への貢献を積極的に果たしていくことが求められる。

目的

厳しい状況にある沖縄のこどもが身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸福な状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができるよう、公衆衛生や母子健康、福祉及び教育に係る地域課題に対応した横断的な研究や、研究成果の社会実装支援を行う研究拠点（国立大学法人琉球大学おきなわこどもまんなかウェルビーイングセンター）を沖縄健康医療拠点内に設置する。

これを機に、これまで琉球大学において実施してきた各般の研究をさらに進展させつつ、「教育」・「保健医療」・「福祉」等の関係分野による学際的な研究を推進し、沖縄における課題の抽出、学際的な研究により得られる成果について、県全体への発信・普及を図り、もってこどものウェルビーイングへの貢献を目指す。

参考

経済財政運営と改革の基本方針2024（骨太の方針2024）抜粋

第2章 社会課題への対応を通じた持続的な経済成長の実現 ～賃上げの定着と戦略的な投資による所得と生産性の向上～

5. 地方創生及び地域における社会課題への対応

(3) 地方活性化及び交流の拡大

(個性をいかした地域づくりと関係人口の拡大)

個性をいかした地域づくりに向け、沖縄振興・北海道開発と、過疎地域や半島、離島、奄美、小笠原、豪雪地帯等の条件不利地域対策に取り組む。強い沖縄経済の実現に向けた観光の質向上や脱炭素化、沖縄科学技術大学院大学の起業支援等の産業振興、北部・離島等の定住環境整備、普天間返還も見据えた基地跡地の先行取得と那覇空港等との一体的な利用、**教育・医療・福祉が融合したこどもの貧困対策・Well-being拠点設置に向けた取組**、平和学習の充実等の沖縄振興策を国家戦略として総合的に推進する。